

With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

vol.34

2015.12/1

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1
TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812
E-mail: t356811@takamori.ne.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏

高森荘からの情報発信 ウィズ



秋祭り

ある日の高森荘

9月12日秋晴れの土曜日、
高森荘恒例の秋祭りが
開催されました。

ステージ発表のスタートを飾ったのは、筋肉痛に耐えながらも毎日必死に練習を積んできた、職員による「よさこい踊り」。そして島人ようせい様による心地よい三線の音色や、ダンスチームM☆RACLEの子ども達による、元気いっぱいのダンスなどで、大いに盛り上がりました。

屋外でも、あつあつのたこ焼きや、ワッフルの屋台に美味しそうな笑顔が溢れ、高森荘全体が熱気に包まれた一日でした。

秋祭りを一緒に盛り上げて下さった多くの皆様、本当にありがとうございました。そして、日頃より高森荘を見守って下さる皆様に心からの御礼を申し上げます。

中学校福祉体験 市町村教育委員会主催 初任者研修会



社の職場体験事業」に取り組みました。事業の主旨である福祉の現場を体験することで、今後の学生生活や将来において、福祉や介護の仕事に興味・関心をもってもらえればと願っています。

○毎年、飯田市教育委員会から、飯田型キャリア教育の一環として「中学生の福祉・職場体験学習」の受け入れ要請があります。

今年度は七月から十月までの間「高陵」「飯田東」「鼎」「緑ヶ丘」「旭ヶ丘」の各中学の生徒さん計二十四名がお見えになりました。まさに次代を担う明るく元気な生徒さん達は、利用者の方達と生産活動で汗をかいたり、車椅子体験や食事介助の現場などを見学しました。

事業所では、この機会を利用して、各学校にご理解いただき、県社協が主催する「福

○市町村教育委員会主催の初任者研修会が七月二十九日に実施されました。この研修会は、毎年、地元飯伊の小学校に採用された教員の方達を対象にするもので、当日は主に生産活動を体験してもらっています。エネルギーユナ先生方が二十八名参加されました。今年で十二回目となりますが、施設の伝統事業になりつつあります。

子供達や先生方の訪問は、とかく無味乾燥、閉鎖的になりやすい施設生活に、新鮮さと一時の潤いを与えてくれます。

商工会女性部ボランティア作業

高森町商工会女性部の皆様が施設の環境整備に来て下さいました。

あいにくの空模様だったため、毎年行ってきたさついでに、除草作業ではなく、窓拭きを行いました。

お願いしたところ、窓だけでなく窓枠等細かいところまで綺麗にしてくださいました。

お忙しい中、お見えになっていただき大変ありがとうございました。

スポーツ教室

年に数回、駒ヶ根のサンスポーツよりインストラクターが来てくれて行われるスポーツ教室。

毎回、楽しいレクリエーションやスポーツを用意して来てくれるため、利用者からとても人気のある行事の一つとなっています。

この日も半数以上の利用者が食堂に集まり、ボールやパラスニートをを使用したレクリエーションを夢中になり楽しみました。

安全防災 地震総合防災訓練

高森荘では火災・地震のよう大きな災害を想定し年に3回、防災訓練が行われています。

その中でも、「防災の日」同様、秋に行われる地震総合防災訓練は、地震観測データ異常発見から全員が安全に避難するまでの流れを、一日かけて行う大きな訓練となっています。

訓練内容も避難訓練・消火栓を使用した消火訓練・炊き出し訓練・救護訓練等、地震が起きた際に考えられる様々な場面を想定し行われています。

万が一の際に全員が落ち着いて行動出来るために、また被害けがを最小限に抑えるためにも利用者・職員とも真剣にこの訓練に臨んでいます。



育成会交流会

8月5日(水)高森荘利用者と地元の小学生との交流会が行われました。

今年の交流会はみんなで横3m×縦21mの大きな貼り絵、葛飾北斎の「赤富士」に挑戦しました。

龍口、上平両地区の小学生と保護者・役員の49名、高森荘の利用者50名、それと高森中学校の生徒さん13名のボランティア、合わせて112名が参加してくれました。

9時30分に初めの会と、貼

り絵の制作の説明を行いました。その後、9つの班に分かれ、貼り絵を協力して行いました。1班の受け持ちは模造紙1枚ずつでした。

途中、アイスクリーム休憩を挟んで11時頃まで作業を行い、その後、各班で作った貼り絵をつなぎ合わせてみました。とても迫力のある「赤富士」が出来上がり、みんなびっくりにしていました。作品は「高森中学校文化祭」「松川ふれあい広場」に出展しています。



高森北小学校音楽会

7月3日高森北小学校の音楽会に招待して頂き、高森荘では「希望の花」という曲を発表してきました。この曲は法人の3つの施設を花に例えて作った曲です。

1ヶ月前から毎朝練習し、当日は職員のピアノとギターの伴奏に合わせて発表を行いました。

小学校の保護者の方より、「いい歌を聴かせて頂いた」等感想を頂き、とても良い思い出となりました。



生産活動

授産施設から生活介護に変わり4年経ちますが、今日も利用者さんは自分の仕事として捉え、取り組まれています。今年は例年に比べ作業量も増え、お陰様で収益も増加傾向にあります。

毎年、11月には市田柿関係の商品や、年末に向けた商品の依頼が多く、日々忙しく取り組ませて頂いております。しかし、障害の重度化、年齢による身体能力の低下もあり、思うように作業効率があがらなかつたり、今まで出来てい

第36回飯伊障害者スポーツ大会

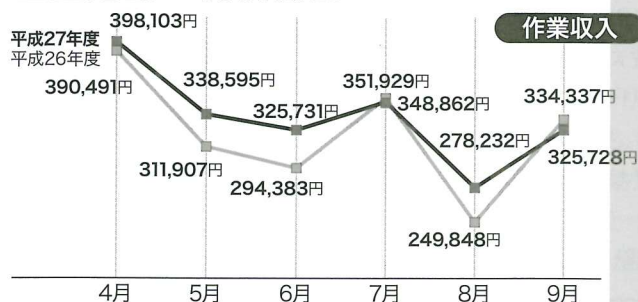
第36回飯伊障害者スポーツ大会が開催され、高森荘からは10名の利用者が参加しました。

今年のスポーツ大会では、高森荘が選手宣誓を担当するということで、山田高義さんに選手宣誓を行って頂きました。

競技の方も皆さんそれぞれに頑張ってください、晴天の中楽しい時間を過ごせました。また来年も参加できたらと思っています。



生産活動の現状報告 (上半期)～昨年との比較～



2015年6月~11月 行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。

ボランティアの受け入れ

- 7月8日/高森町商工会女性部 (施設内清掃)

実習・研修の受け入れ

- 7月2日~7日/高陵中学校 1名
- 7月8日~10日/飯田東中学校 3名
- 7月29日/初任者研修 28名
- 8月27日~28日/鼎中学校 4名
- 10月6日~7日/緑ヶ丘中学校 9名
- 10月14日~16日/旭ヶ丘中学校 7名



秋祭り



義務教育関係 初任者研修



高森町民生児童委員交流会



鈴木敏美 歌謡ショー

飯伊障害者スポーツ大会 6/6

6/10 双葉会交流会

7/8 育成会交流会

7/27 夏季火災避難訓練

8/6 出張スポーツ教室 高森町民生児童委員交流会



双葉会交流会

鈴木敏美 歌謡ショー 9/9

秋祭り 9/12

出張スポーツ教室 10/1

地震総合防災訓練 10/2

お読みください

先日、町内のある方から「以前読んだ、確か？蛭という詩が忘れられない。ぜひもう一度読ませてほしい」という問い合わせを頂きました。懐かしさと感動、私たちが忘れていた素晴らしい作品に改めて出会うきっかけとなりました。

編集後記

木々の葉が色づき、朝晩の寒さを肌で感じる季節となりました。利用者さんの服装も厚着になり、もうすぐ冬がやってくるのだと感じています。利用者さんが園内から見える山々を見て、紅葉を楽しみながら笑っている姿に、私もうれしく思います。

この季節は体調を崩しやすいですが、先日、高森荘ではインフルエンザの予防接種も終え、感染症対策に取り組んでいます。利用者さんと共に職員も丸となり、健康管理に留意し、笑顔あふれる日々を過ごしたいと感じています。

平成10年4月30日

高森荘だより

第23号 (6)

蛭
大久保和人(元高森荘利用者)

「父ちゃん、蛭ってどんなもんかなあー。」
「和人、おまえ、蛭を知らなかったのか？」
オヤジは、不機嫌そうに言ういつもの仕事にとりかかった。
ある夜のこと、
オヤジは俺を背中にくくりつけて自転車で乗った。
俺は、何の事かわからず
オヤジの背中に、しがみついていた。
どのくらい走ったのだろうか
自転車が止まり、暗闇に立った。
「和人、見ろ、蛭だぞ。」
オヤジの背中から顔をあげた時、
目の前を、スーと白い光がゆれていった。
細い線を描いては消え、消えては、また光る。
やさしくて、なぜか悲しくて、
これが蛭というものか、信じられなかった。
オヤジは、ズボンのポケットから紙袋を出し
つかまえた蛭を入れて、俺に握らせた。
蛭は、赤く光っていた。
俺が十五才の初夏の事だった。
オヤジは短気で、すぐに手がとんでいた。
オフロや兄たちが、いつも泣いていた。
俺は、こんな身体だったから殴られることもなかったが、
殴られている兄たちが、うらやましかった。
オヤジは、俺が三十六才の時に死んだ。
あの蛭は、オヤジと俺の、たったひとつの思い出だ。
赤い光が、オヤジの心のように。
今、俺の心をあたためている。

